

セルフレベリング材としての性能			
項目	結果	建築工事標準仕様書 JASS15 M-103	
比重	スラリー	2.08kg/ℓ	—
	硬化体	1.98kg/ℓ	
フロー値	220mm	190mm以上	
圧縮強度	材齢7日	33.4N/mm ²	20N/mm ² 以上
	材齢28日	42.3N/mm ²	
曲げ強度	材齢7日	6.5N/mm ²	—
	材齢28日	8.1N/mm ²	
凝結時間	始発	1時間00分	45分以上
	終結	1時間06分	20時間以内
下地接着強度	材齢14日	3.2N/mm ²	0.7N/mm ² 以上
表面接着強度	材齢14日	3.6N/mm ²	0.5N/mm ² 以上
長さ変化	材齢28日	0.04%	0.12%以下
耐衝撃性	割れはがれ	なし	なし

注) 上記のデータは、建築工事標準仕様書・同解説 JASS15 M-103(セルフレベリング材の品質標準)に規定する試験方法に従って測定した自社試験結果です。

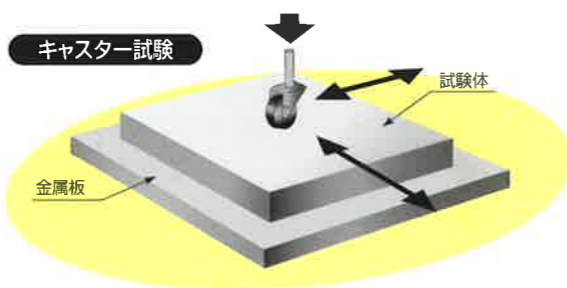
素地SL材としての性能 (表面の耐摩耗性)			
項目	材齢28日 ²⁾	紫外線1,000H耐久性 ³⁾	
摩耗深さ ¹⁾	タフレベラー-Gプラス	0.10mm	0.10mm
	コンクリート仕上げ	0.36mm	—

1) JIS K 7204(摩耗輪によるプラスチックの摩耗試験方法)に準拠して摩耗深さを測定。回転数:2000回転(但し、コンクリート仕上げは1000回転のデータ) 摩耗輪GH150H、荷重250g
2) 気中養生:20℃、RH65%
3) メタリングウエザーメーターにて、放射照度0.53kW/m²の紫外線を連続照射

塗り床下地としての性能 (表面強度)			
項目	結果	塗り床ハンドブック	
塗り床材との接着試験 ⁴⁾	材齢1日	3.5N/mm ²	1.5以上
	材齢14日	4.5N/mm ²	
引っかき試験 ⁴⁾	材齢14日	0.25mm	0.3以下が望ましい
キャスター試験 ⁵⁾	タフレベラー-Gプラス	0.4mm	—
	汎用SL材	3.6mm	
	エポキシ系塗床厚膜工法	0.5mm	

4) 接着試験、および引っかき試験のデータは、塗り床ハンドブック(日本塗り床工業会)に規定する試験方法によって測定した自社試験結果。

5) 試験方法は、JIS A 1454「高分子系張り床材試験方法」に規定のキャスター試験(重荷重法)に準拠し、SL材表面へキャスターを直接走行させる条件で、表面の凹み深さを測定。
キャスター試験条件: キャスター(スチール製 ø125mmx40mm)、荷重2000N(約200kgf)、1000サイクル



① 袋物

25kg紙袋(ポリ内袋)		
混練水量	1袋あたり5.5ℓ	
施工面積の目安	20mm厚	約0.7㎡
	10mm厚	約1.5㎡

② スラリー販売
●専用ローリー車

仕様	大型車	中型車	小型車
長さ(cm)	830	623	621
車幅(cm)	249	232	222
車高(cm)	327	303	296
最大積載量(kg)	9,000	8,000	4,800
最大混練量(㎡)	5.0	4.0	2.0
圧送能力	最大70~100m(垂直20 m)		
混練能力	2~3㎡/hr		

※ローリー車の仕様は、車種・地域によって多少異なります。

本カタログの記載内容については、予告無しに変更する場合がありますので、予め御了承願います。

- 注意**
- 製造日より2ヶ月以内に使用してください。
 - 貯蔵保管はセメントに準じて湿気を避けてください。
 - セメント、珪砂等、他の材料を加えないでください。
 - 気温5℃以下の施工は避けてください。
 - 取り扱いは手袋、長靴、保護メガネ、防護マスク等の保護具を着用してください。
 - 吸入した場合: 新鮮な空気の場所に移動し、水又は温水でうがいをしてください。
 - 目に入った場合: 清潔な水で15分以上目を洗浄した後、直ちに眼科医の手当てを受けてください。
 - 皮膚に付着した場合: 汚れた衣服や靴を脱ぎ、付着した部分を水又はぬるま湯で洗い流してください。
 - 飲み込んだ場合: 水で口の中を洗い、直ちに医師の診断を受けてください。

- 東京建材支店 ☎105-8449 東京都港区芝浦1丁目2番1号 シーバンスN館 TEL 03-5419-6205
大阪建材支店 ☎530-0003 大阪市北区堂島1-6-20(堂島アバンザ20F) TEL 06-6346-1403
名古屋建材支店 ☎461-0005 名古屋市東区東桜1-1-10(アーバンネット名古屋ビル20F) TEL 052-961-1375
広島建材支店 ☎730-0031 広島市中区紙屋町2-1-22(広島興銀ビル) TEL 082-244-7234
九州建材支店 ☎810-0001 福岡市中央区天神1-2-12(天神12ビル8F) TEL 092-781-2309
東北建材営業所 ☎980-0014 仙台市青葉区本町2-2-3(鹿島広業ビル) TEL 022-262-6235
札幌建材営業所 ☎007-0801 札幌市東区東苗穂一条1-2-44 TEL 011-784-8183



日本建築仕上材工業会登録	
登録番号	1604017
放散等級区分表示	F☆☆☆☆
問い合わせ先	http://www.nsk-web.org/

販売取扱店

高性能セルフレベリング材



高強度・超速硬型 セメント系セルフレベリング材

タフレベラー-G^{プラス}

地域限定販売品

F☆☆☆☆ 適合商品

(NSK自主表示制度に基づく表示)

JASS15 M-103 適合品

タフレベラー-Gは宇部興産(株)の登録商標です

耐荷重床・塗り床仕上げへの適用が可能!!

最速6時間後の張物仕上材施工を実現!!

素地仕上可能 = 仕上材なしでも耐久性維持!!

宇部興産株式会社

タフレベラー-G^{プラス}は、重荷重が作用する床下地へ適用できる高性能セメント系セルフレベリング材です。 SLスラリー供給システムと超速硬性の材料特性との組合せにより、短時間で広面積の施工が可能となり、大幅な工期短縮が図れます。

特長

- 強度(表面硬度) 発現性** 高強度化(圧縮強度42N/mm²)・耐摩耗性の向上により、耐荷重床下地への適用が可能となりました。
- 速硬性・速乾性** UBE速硬型SL材のラインナップの中でも最も速硬・速乾であり、標準期において施工後2時間での軽歩行、翌日の仕上げ材施工が可能です。
- 寸法安定性** セメント系材料の弱点である収縮率を規格値の1/3とした超低収縮SL材です。
- 適用仕上げ材の多様化** 塗り床材、張物など多種仕上げ材への適用が可能です。素地仕上げにも使用可能です。(但し、使用方法をご確認ください。)
- 耐久性向上** 従来のタフレベラー-Gに比べて、表面強度の耐久性が一段と向上しました。

用途

- 工場、倉庫、駐車場、病院オペ室など重量物が作用する床下地工事
- 店舗などの緊急床下地工事
- 塗り床仕上げの床下地工事
- 新築・改築の床下地工事全般
- 駐輪場などの素地仕上げ工事

※タフレベラー-Gプラスは屋内使用専用です。

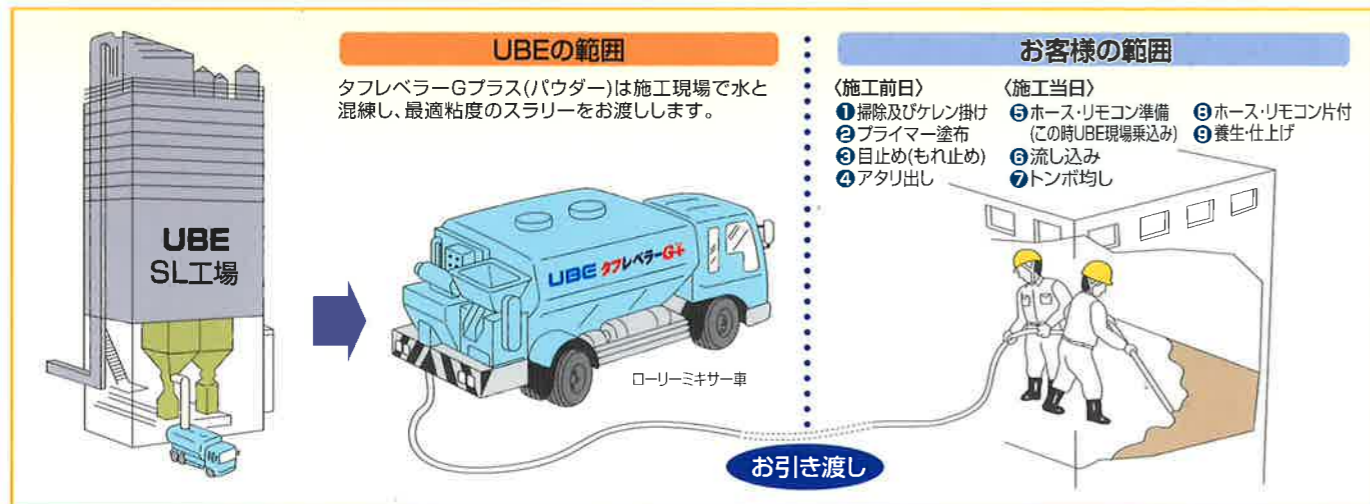
施工厚

7~50mm (平均厚み7mm未満ではドライアウト・不陸になり易いので避けてください。)

養生期間の目安 ※施工厚10mm、湿度RH65%の場合

項目	20℃以上	10~20℃	5~10℃	5℃以下
軽歩行時間	2時間	4時間	6時間	施工不相当
張物施工	6時間	12時間	18時間	施工不相当
塗り床施工	24時間以降			施工不相当
素地使用	72時間以降			施工不相当

SLスラリー供給システム



施工方法

施工計画

施工厚、施工面積、施工回数、施工場所(ローリー車の場合、ホース長・階高)の調査を行い、ローリー車または袋物の選定を行ってください。材料の可使用時間とスラリー供給量との関係を考慮して、流し込み順序、環の設置などの施工方法について、事前に充分ご検討ください。なお、袋物の場合は、使用ミキサの選定、1バッチ当りの練混ぜ袋数の検討も同時に実施してください。

使用方法

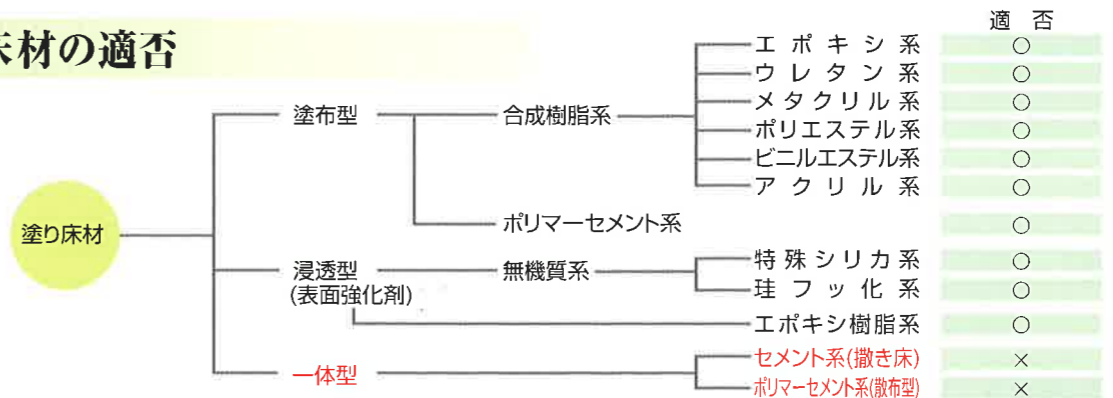
※詳しくは、別紙施工要領書を御覧ください。

- 下地処理**
作業に入る前に、以下の点に充分注意し調整してください。
● 雨打たれなどのコンクリート表面の脆弱部分は、取除いてください。
● 改修工事で張物の接着剤が残っている場合は、取除いてください。
● 床面に油などのシミがある場合は、削り取ってください。
● 壁との境界部や、下地に隙間がある場合は、モルタル等で漏れ止めを行ってください。
- プライマー処理**
● 床面全体を、掃除機などで十分に清掃し、ホコリを取除いてください。
● 原則として施工前日に、Uプライマー-IIの希釈液をデッキブラシ・ハケ等で擦り込むように所定量(下表参照)を充分塗布してください。
プライマー処理には専用のUプライマー-IIを必ずご使用ください。
● 雨打たれなど下地への吸水が大きく、気泡発生が多い下地については、プライマーを2回塗布してください。
● プライマーが乾燥していることを確認後、タフレベラー-Gプラスの流し込みを行ってください。
- 混練り(袋物)**
● 混練り水量は、水道水5.5リットルを厳守してください。
● 混練りには、高速回転のハンドミキサー(600回転/分以上)または、SL専用ミキサーを使用してください。
● 混練りは、所定のミキサーで必ず3分間攪拌してください。
- 流し込み**
● 墨やアタリを目印に、均等に流し込んでください。
● 流し込み後、速やかにトンボまたは土間専用コテで均してください。
● 速硬タイプで閉塞の危険性があるため、長時間のポンプ圧送中断の回避、施工終了後のホースの早期片付けに留意してください。
- 養生・打ち継ぎ・補修**
● 打ち継ぎは15分以内に行ってください。
● 硬化するまでは、窓を閉め、急激な乾燥を避けてください。
● 速硬タイプのため軽歩行可能時間直後に打ち継ぎ部の処理を行ってください。※1時間以降は硬化が進行し、補修が困難になります。
● 硬化後は窓を開け乾燥させてください。
● 仕上げ材の施工に際しては、乾燥状況を十分に確認してください。
- 素地仕上として使用する際の注意**
● 構造的な目地や、下地クラックには追従する可能性があります。
● 気泡跡や色ムラおよび表層のヘアクラックは避けられません。
- その他**
● 屋外や常時、水のかかる箇所は施工できません。
● プライマーの塗布やSL材の施工は、気温5℃以下では行わないでください。プライマー塗布からSL材の硬化までに気温が5℃以下になると考えられる場合は、適切な採暖を行ってください。
● 塗り床の施工は、塗り床ハンドブック(日本塗床工業会)に従って実施してください。特にSL材表面の目粗し(サンドペーパー等)、塗り床用プライマーの塗布は必ず行ってください。
● 塗り床材特殊仕様(塗厚大、下地条件有など)の適用可否、特殊な下地、用途などで不明な点については、メーカーまでお問い合わせください。
● 素地仕上げ材として使用される場合はメーカーに御相談ください。

コンクリート・モルタル下地状況	プライマー濃度・塗布回数	塗布量 (m ² /缶)	
金ゴテ押さえ	3倍希釈液	150~200	
木ゴテ押え、研削床下地	3倍希釈液	100~150	
雨打たれ下地	6倍希釈液	4倍希釈液	80~100

※雨打たれ下地など気泡発生懸念がある場合、事前のテスト施工をお勧めいたします。

塗り床材の適否



【施工事例】

